

# 首相「写真は私的場所」

## 公邸忘年会「問題ない」と認識

岸田文雄首相は2日、親族との首相公邸での「忘年会」で自身も納まった写真が週刊誌に掲載されたことについて「公的なスペースにおいて不適切な行為はない」と、問題はないとの認識を示した。松野博一官房長官も記者会見で問題ないとの認識を示し、「今後とも公邸の適切な使用管理を徹底してまいりたい」と繰り返した。

首相は出邸する際に記者団の質問に答え、「公邸には私的なスペースと迎賓機能をもつ公的なスペースがある。私的なスペースにおいて親族と同席したものだ」と強調した。写真は首相と妻裕子さんが中央に座り、親族10人以上が写る。2日発売の写真週刊誌「フライデー」が報じた。

首相は忘年会について、出席し、あいさつしたことは認めていた。共産党の田

村智子政策委員長が2日の記者会見で「あいさつどころでなく、加わって一緒に記念撮影もしていた。公邸私物化、政治の私物化というのを首相自身がきちんと認識していない」と批判。首相が説明責任を果たすべきだとの考えを示した。立憲民主党の泉健太代表も記者会見で「公邸内部の画像

が流出したのは大きな問題だ」と、危機管理上の問題を指摘した。

忘年会をめぐっては、政務秘書官だった長男翔太郎氏らが、内閣発足時の記念撮影にも使われる赤いじゅうたん敷きの階段などで記念撮影をしたことが報じられ、首相は政務秘書官を1日付で更迭した。(川辺真改)